



名残り惜しうにスキーや雪遊びをする人でいっぱいでした



「今日までありがとう!」と、感謝の言葉が刻まれていました

那須温泉ファミリースキー場 たくさんの楽しい思い出をありがとう!!



令和3年度をもって、那須温泉ファミリースキー場は休止となりました。

同スキー場は、湯本地区の観光振興と冬季誘客を目的に、昭和36年に「国設町営那須岳スキー場」として開設。その後、町直営事業となり、平成28年度からは、那須未来株式会社が指定管理者となり営業を続けてきました。最盛期には年間7万人（昭和51年）を超える方にお越しいただくなど、61年間にわたり町内外の多くの方に愛されてきました。

最後の営業日となった3月21日、親子2世代で当スキー場を利用してきた方や、「1時間だけでも」と限られた時間の中で滑りに来た方など、休止を惜しむ多くの方々にお越しいただきました。

61年間の長きに渡り、たくさんのご来場いただきありがとうございました。

短歌

◎今月号の遊行柳の投句は該当作品がありませんでした

幾度か庭の除雪を繰返し

風はぬるみて芽吹き近づく

子らみな幸せねがい那須の地に

こども食堂今日開店す

田中恵美子

羽深 弘子

羽深 弘子

俳句 (2022.4月号)

・那須文芸

春耕や遊行柳の畦舞台

春耕や無心の孫を座らせる

春光や雑木林の木々染めり

春耕や土黒ぐろと雨光る

一徹に山田に老いて田を返す

義経の愛馬跡とや草朧

坪ほどの畑を返して自適なる

吊橋の一步にすくむ雪解川

野遊びやかけよる笑顔日の香り

野遊びに時を忘れしよき昭和

根分菊携へ爺のバイク便

道行の罎口出す菊根分

菊根分け今日から一人土に立つ

不器用な手先ためらふ菊根分

ふるさとの友も今ごろ菊根分

古雛やし色褪せ威厳有り

摘草の指にのこりし昼の膳

夭折の友と出会ひぬ春の夢

日脚伸ぶ風は那須から八溝から

野口 直女

藤井 幸子

伊藤 節子

三浦 久子

松浦 秀文

中島 慶子

鮎瀬 汀

仲川 光風

大島 昇

平岡 丈子

齋藤 照代

岡部 慶子

角田富美子

小森 静江

長島 啓子

郷 華

津田イツ子

七海 英音

田中 思楼

那須文芸への出句について

出句は楷書でお願いします。判別できない場合は掲載になりませんのでご注意ください。

また、電話番号の記入をお願いします。

■締切り 4月20日(水)

■俳句の送付先

〒329-3222 那須町大字寺子丙3-166

田中 義郎 ☎72-5044

■短歌の送付先

〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13

総務課広報広聴係 ☎72-6901

表紙の話

役場本庁舎から望む那須連山(3月24日撮影)

4月号から、表紙シリーズ「空から見た那須町」が新たに始まりました。ドローンを使って、上空から町内各所を撮影していきます。

初回は、役場本庁舎の上空で、黒田原から那須連山にかけての様子を撮影しました。那須連山の主峰・茶臼岳が一番目に目に入るとおり、本町は豊かな自然に恵まれ、四季折々の美しい景色が楽しめるまちです。

今後、地上では見ることができない、本町の魅力をお届けしますので楽しみに！